

翠檜新聞



志 寛 錬

第5号
2020.6.30
第74代
伊敷中生徒会



志に向かって

一年間の決意を述べる志向日

5月中旬、各学年の学年朝会の際に「志向日」が行われました。

学級代表として、具体策を発表した代議員は、学年全体に伝わるように大きな

声でハキハキと発表していました。中には、汎用的な資質・能力(ルーブリック)を使って発表している学級も多く見られました。志向日

を終え、代議員は何を感じたのでしょうか。一年二組 松本 優さん



小城 悠大くん
僕たちの学級は、志向日で工夫したところがあります。それは、汎用的な資質・能力のルーブリックを使いながら発表したところ。ルー

志向日とは

「志向日」とは、学級目標を学級全員で読み上げ、学級目標を達成するための具体策を発表し、目標に向かって具体的に行動することを決意する日です。「志向日」が伊敷中学校で始まったのは、今から4年前。岐阜県の東長良中学校で行っていたものを参

考に当時の緑学年から始まり、その後、学級目標を大事にすることを全校に広げていこうと全学年が学年朝会で「志向日」になりました。良い集団を作るために、大事なこととして、「目標」「組織」「話し合い」の三つ

があげられます。学級目標はそのうちの「目標」に当たるものです。様々な考えや価値観をもった人が集まった

よりよい集団になるために必要なことは...

目標 組織 話し合い

学級目標は一年を通して学級を導き、学級集団を高めてくれるもの。

志向日

学級目標の紹介とそれを達成するための具体策を学年全員の前で発表し、決意を述べる日

FACE



小門良二先生

今回のFACEは、伊敷中主事の小門良二先生です。二、三年生のトイレにある木のすのこは小門先生が作ってくださいました。先生がどのような仕事をしているのか、聞いてみました。

Q1、主事とはどんな仕事なのか

A1、主に学校緑化と営繕の取組をしています。入学式卒業式の花や一人一鉢の花も私が手入れをしています。

Q2、なぜこの仕事に就いたのか

A2、私は市の職員です。道路や公園の整備など様々な仕事の中で伊敷中に勤務することになりました。



小門先生が作ってくださったのがより快適に過ごせるために、雨の日も毎日作業をしてくださっています。私たちも学校緑化のために責任をもって自分の花の管理をしましょう。(宮ノ前那海)

ブリックを用いたことで、みんなに理解してもらえたのではないかと思います。これから、目標達成に向けて頑張っていきたいです。

三年三組 永田朋莉さん

私たち三年生は、準備期間がとて短く、正直心配でした。でも、代議員同士で協力したり、みんなが大きな声を出しやすくなるために自分から大きな声を出すことでよい発表ができました。一年生にも、志向日とは何かを伝えられたのでよかったです。

これからは、一人一人が学年・学級のために行動していきたいと思います。そして、学級目標の達成率100%を目指して全員で頑張りましょう。(武 大叶)

突然ですが、「あ前向きな姿勢です。心配事があっても、ポジティブに考えることが大切です。最後に四つ目は、「ありのままに！」ということ。人と比べてしまいがちですが、自分自身で考え、自分らしく過ごしていくことが大切

「はい、幸せです。」と答える人はどれくらいいるでしょうか。今回は、「幸せ」について少し探ってみました。

ある本に慶応大学の前野教授の「幸せ」になるための四つ目のことが書いてありました。一つ目は、「やってみよう！」と思うことです。苦手なことを後回しにすることなく、挑戦して成長していくことができます。二つ目は、「ありがとう！」を大事にすること。常に周りの人への感謝を忘れないことが大事です。三つ目は、「なんとかなる！」という

Q3、伊敷中を見て思うこと

A3、子供たちが花を大切にしているので、うれしいです。みなさんが毎日食事をするように花にも水が必要です。忙しいと思いますが、グリーンタイムには必ず参加しましょう。また、自分の一人一鉢の花の名前を知っていますか。ぜひ自分が世話をしている花について調べてみてください。そしてもっと花を好きになってほしいと思います。

コロナウィルスの影響で、これまで通りにできないこともあり、今、「幸せでない」と思っている人もいるかもしれません。ですが、制限された生活の中でも、考え次第で幸せな生活にすることは、できるはずなんです。現実起こることを変えることはできません。変えられるのは、自分の考え方です。ぜひ意識してみてください。(牟禮 こころ)

5月22日、生徒総会が行われました。新型コロナウイルスの影響で延期になっていた生徒総会。延期になったり、通常通りの実施ができなかったりした中、できる限り、全校生徒の意見を大事しながら話し合いができるよう、代議員や生徒会役員は直前まで準備をしていました。



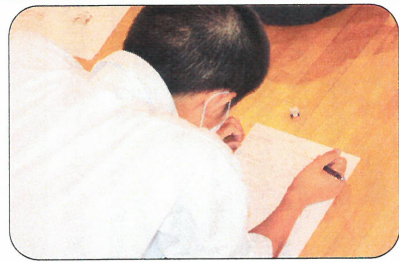
今回の生徒総会は新型コロナウイルス感染防止のため、指名なし発表がありました。また、密を避けるため、一・三年生は体育館二年生は武道館で行うと



いう通常とは、違った形で行われました。全体協議でも話し合いをすることはできませんでしたが、全校生徒

想像して創造する生徒総会

の事前アンケートを基に会は進行し、有意義な時間を作ることができたのではないのでしょうか。また、長時間発表を聴き続けることは



大変だったと思いましたが、全校生徒のみならず、みなさんがとても良い態度で参加してくれたので、無事に会を終えることができました。



この会の目的の一つは、「伊敷中学校生徒会の一員としての自覚を深める」ということです。生徒総会に参加して終わりではなく、これから、自分分は伊敷中学校生徒会の一員として何が出来るかを「想像」してください。

して、一人一人が想像して活動したことを基に、よりよい学校を「創造」していきたいでしょう。生徒総会を通じて、学校生活がより充実したものとなり、伊敷中生全員が「学校が大好き」と言えるような学校を創っていきましょう。

(師玉海汰)

【中学校最後の生徒総会を終えた三年生から一言】学習部部长 池田唯花さん
今回コロナの影響で準備期間が短いなど、大変なこともありましたが、緊急事態にも対応できる力が付いたと思います。今回身に付けた力を生かしていきたいです。

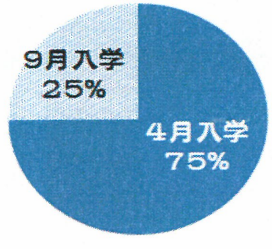
議長 古賀友望さん

コロナの影響で少し戸惑

あなたはどっち？ 四月入学・九月入学

新型コロナウイルスが猛威を振るっていった5月。学校が休校となり、9月入学制という案が話題となりました。今回は、国会でも見送られましたが、現在の4月入学と話題となった9月入学。伊敷中生は、どちらの入学を支持するのかアンケートを行ってみました。結果は左のグラフの通りです。

4月入学派？9月入学派？



世界では、9月入学制を採用する国が多いので、今後日本の入学制度も変わっていくかもしれませんね。

【4月入学派の意見】
・入学式には桜が見たい。
・9月入学にすると他の機関にも影響が出る。
・途中で9月入学になると、同級生と違う学年になってしまうのが嫌だ。

【9月入学派の意見】
・世界では9月入学の国が多い。
・一年間の学習が終わった後の休みが長くなるから(年度が終わったら夏休み)。

意外と知られていませんが、日本も明治初期までは9月入学制を採用していました。江戸時代の寺

ことで、三年生の学級専門班会の様子を見学に行きました。三年生はこれまで培ってきた話し合う力を一年生に披露しました。三年四組の代議員 中武亮太くんは、「二年生にも聞かせるような大きな声で進行すること

活発な話し合いを目指して 学級専門班会

5月13日(水)、一・二・三年生は第一回学級専門班会がありました。一年生は初めて

いきましたが、全校生徒の協力もあり会をスムーズに進めることができ、充実した会になってよかったです。

三年一組 井之上悠花さん
生徒会役員や議長のみならず、工夫した発表を堂々としている姿を見てすごいなと思った。それぞれの専門部の役割が確認できたので、今後の自分たちの活動に生かしていきたい。

し発表をしたい。」と三年生の学級専門班会を見た感想を述べていました。

その後、6月に一年生にとって初めての学級専門班会がありました。初めての指名無し発表で、戸惑った部分もあったようですが、活発な話し合いを進められたようです。

一年三組島元歩美さんは「学級専門班会で、私は、二、三回くらいしか発表ができなかったのですが、自分が思っていることをたくさん発表したいです。」と初めての学級専門班会を終えて、感想を述べていました。

話し合いのときに意見を言うために必要なことは日頃から学級の様子をよく観察することです。学級専門班会は一か月に一回しかありません。自分の活動だけでなく、他の人がどのような活動をしているか意識してみてください。良い点や改善点を学級全体で確認するための有意義な時間に行きましょう。

(追 千陽)



学級専門班会の様子を見学する一年生

ISOって何？

ISOとは、スイスのジュネーブに本部を置く非政府機関「International Organization for Standardization」の略称です。日本では「国際標準化機構」と訳されています。ISOの主な活動は国際的に通用する規格を制定することです。何らかの製品やサービスに関して「世界中で同じ品質、同じレベルのものを提供できるようにしましょう」という国際的な規準であり、制定や改訂は日本を含む世界の参加国の投票によって決まります。身近な例としては、非常口のマーク(ISO7010)、カードのサイズ(ISO7810)などがあります。これらは「モノの規格」です。伊敷中でも取り入れている「ISO」はマネジメントシステムの規格。詳しくは次号で紹介いたします。

編集後記

今回の登檜新聞では、志向の日や生徒総会などの記事を書きました。よりよい生徒会活動のため、一人一人が頑張ってください。また、アンケート企画として「4月入学・9月入学」を取り上げました。伊敷中生にアンケートしてみたいことがありましたら、登檜部員まで教えてください。

(武 大叶)